

神戸市がん検診の受診状況と受診率向上の取組について

1. 神戸市がん検診受診者数（令和元年度～令和3年度）

検診種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対元年度比
胃がん検診（X線）	13,371	11,552	12,505	93.5%
胃がん検診（内視鏡）	6,313	5,401	7,865	124.6%
肺がん検診	30,276	27,239	32,143	106.2%
乳がん検診	26,574	23,378	28,734	108.1%
子宮頸がん検診	25,595	23,048	29,238	114.2%
大腸がん検診	84,664	79,790	80,143	94.6%
	186,793	170,498	190,628	102.0%

- ・令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年3月～6月の期間、検診を中止したことと、感染への不安から受診控えが起こったと考えられ、受診者数が大きく減少した。
- ・令和3年度は、全体で見ると対令和元年比 102.0%まで受診者数が回復している。

2. 受診率向上のための取組

○コロナ禍における受診機会の確保

- ・令和2年度～4年度の、偶数年齢対象のがん検診（胃内視鏡・乳・子宮）について、受診期間を6か月延長した。
- ・令和2年度～4年度の、40歳総合健診無料受診券および20歳子宮頸がん検診無料クーポン券について、有効期限を6か月延長した。
- ・令和2年度の検診中止期間中に40歳総合健診受診券の有効期間が重なっていた方へ、有効期限を令和5年3月末に設定した受診券を、令和4年7月に再交付した。

○セット健診の実施

- ・特定健診とがん検診が同日に受診できるセット健診を、健康ライフプラザ及び兵庫県予防医学協会健診センターにて実施しており、受診者増に寄与している。

【参考】セット健診の受診者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃X線	3,608	3,321	3,210	3,611
肺	5,614	5,986	5,966	7,291
大腸	5,039	5,459	5,418	6,692
子宮	1,466	1,593	1,523	2,121
乳	1,643	1,795	1,705	2,362
合計	17,370	18,154	17,822	22,077

○WEB予約システムの導入

- ・集団検診（胃X線検査、乳がん検診、セット健診）の予約をWEBで完結できるシステムを導入した。
- ・神戸市スマート申請システム「e-KOBE」での、大腸がん検診（郵送方式）の申込を開始した。（申込可能期間は10月～2月）

がん検診WEB予約数（令和4年4月1日～7月27日）

胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
653	492	2,183	299	110

○広報物の見直し

- ・神戸市国保特定健診の受診券に同封している「神戸市がん検診制度のご案内」および、40歳総合健診の受診券に同封している「40歳総合健診のご案内」を、わかりやすさと継続受診の訴求を重視してデザインを見直した。
- ・30歳、50歳、60歳の市民へ送付する「がん検診受診勧奨ハガキ」のデザインを同様に見直す。

○新たな広報啓発の取組

- ・HPVワクチンの接種券の送付物に、子宮頸がん検診の受診勧奨チラシを同封した。
- ・がん検診の受診勧奨ポスターを作成し、市内郵便局に掲示した。

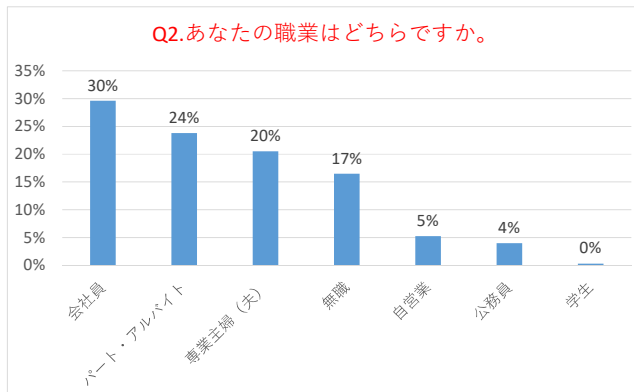
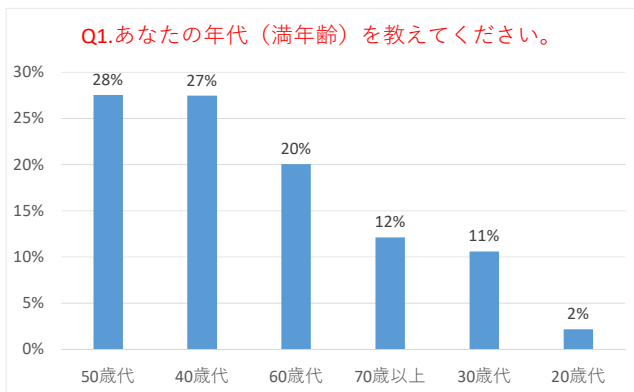
★令和3年度がん検診受診にかかるアンケート回答結果

期間：令和3年11月18日（木）～令和3年11月26日（金）

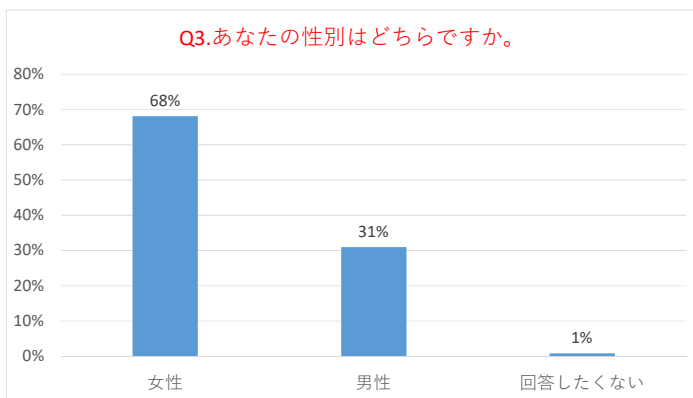
アンケート依頼先：①ネットモニター（4,505人）あてメールを通じて依頼、

②MY CONDITION KOBE利用者（5,772人）あてアプリを通じて依頼

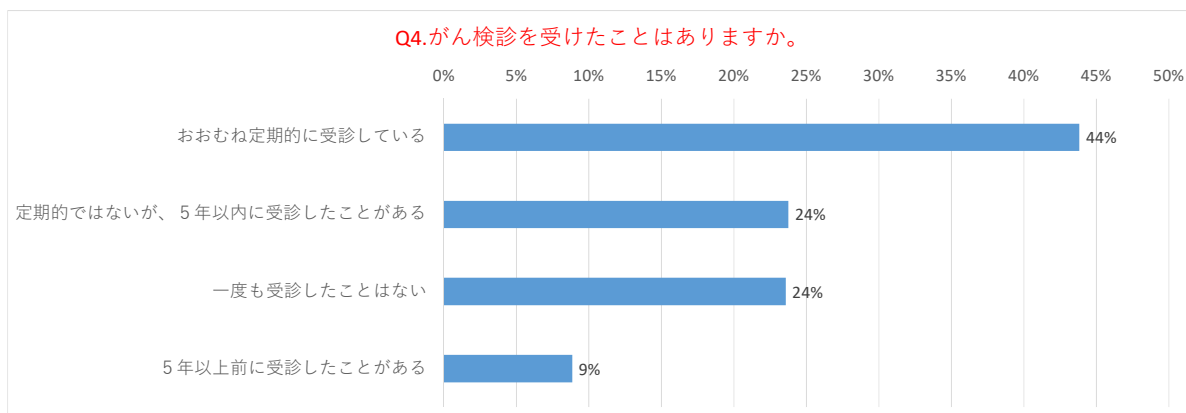
回答者数：2,147名（うち男性666名、女性1,463名、回答したくない18名）



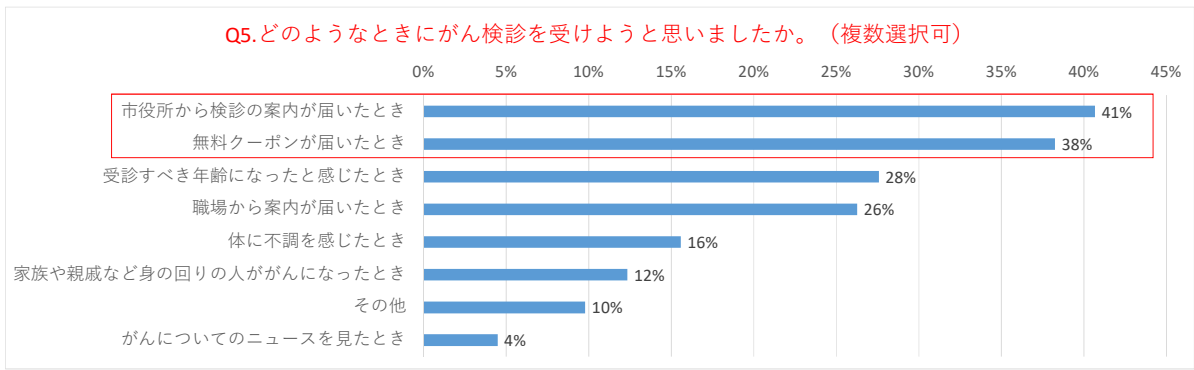
- ・40歳代、50歳代合わせて、全体の約半数。
- ・会社員の割合が全体の約3割と最も多い。



- ・回答者のうち、女性は約7割、男性は約3割を占めている。



- ・定期的に受診、5年以内に受診したことがある：約7割（1,450人）
 - ・5年以上前に受診、受診したことがない：約3割（696人）
- （「受診したことがある」と回答した人が多いのは、MY CONDITION KOBEのアプリで案内したことにより、元々健康に関心の高い人が多く回答したのではないかと予想。）

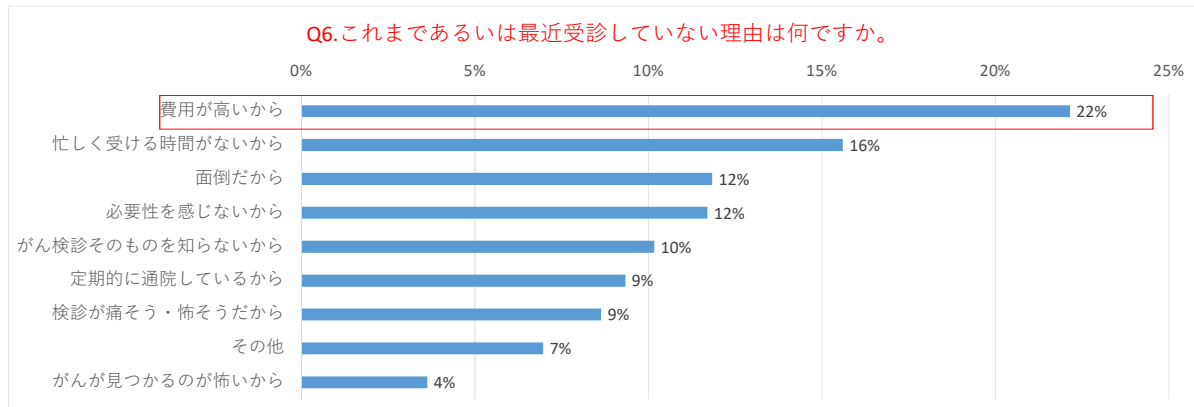


【回答対象者】

Q4で「定期的に受診」「5年以内に受診したことがある」と回答した人(1,450人)



- ・「市役所から検診の案内が届いたとき」や「無料クーポンが届いたとき」等、市がアクションを起こしたことにより受診したという人はそれぞれ約4割。
- ・「その他」の回答の中には、「毎年人間ドック受診時に受けている」や「過去にガンになったため」、「医者に勧められたため」という回答が多かった。

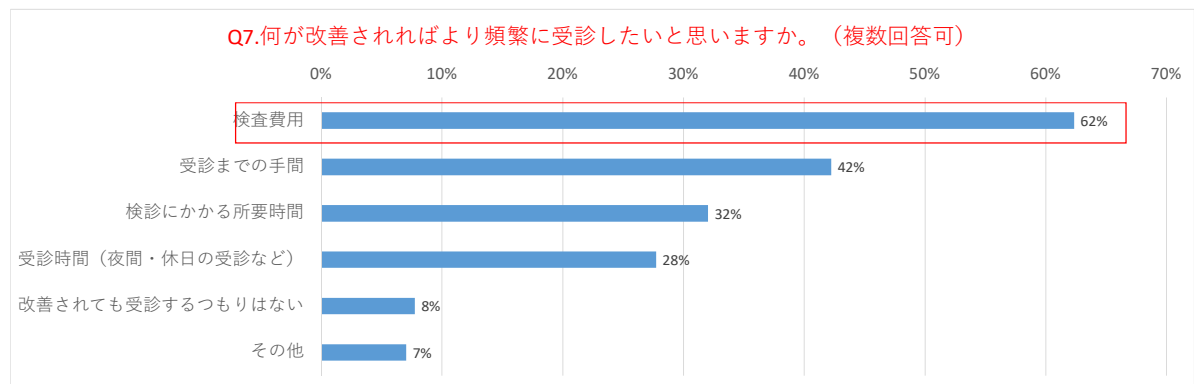


【回答対象者】

Q4で「5年以上前に受診」、「受診したことがない」と回答した人(696人)



- ・「費用が高いから」と答えた人が対象者の約2割と一番多い。
- ・「その他」の回答の中には、「毎年会社の健康診断を受けているから」や「仕事を休みたくないから」という回答があった。

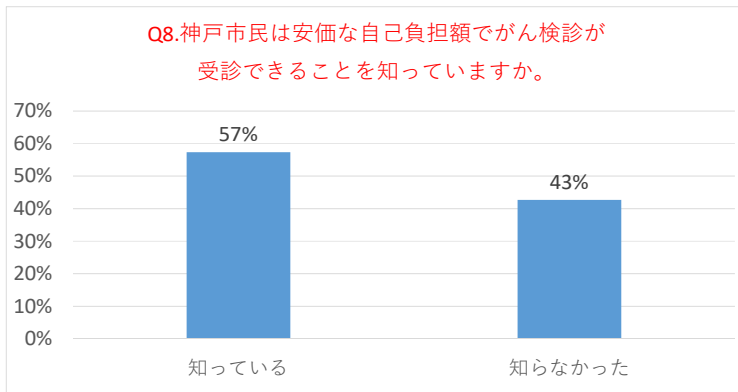


【回答対象者】

Q4で「5年以上前に受診」、「受診したことがない」と回答した人(696人)



- ・約6割が「検査費用」が改善されれば頻繁に受診したいと回答。
- ・「その他」の回答の中には、「痛みを伴う検査が改善されたら」や「がん検診の内容が分からない」という回答があった。



※がん検診を受診していない人は、知らない割合が高い。

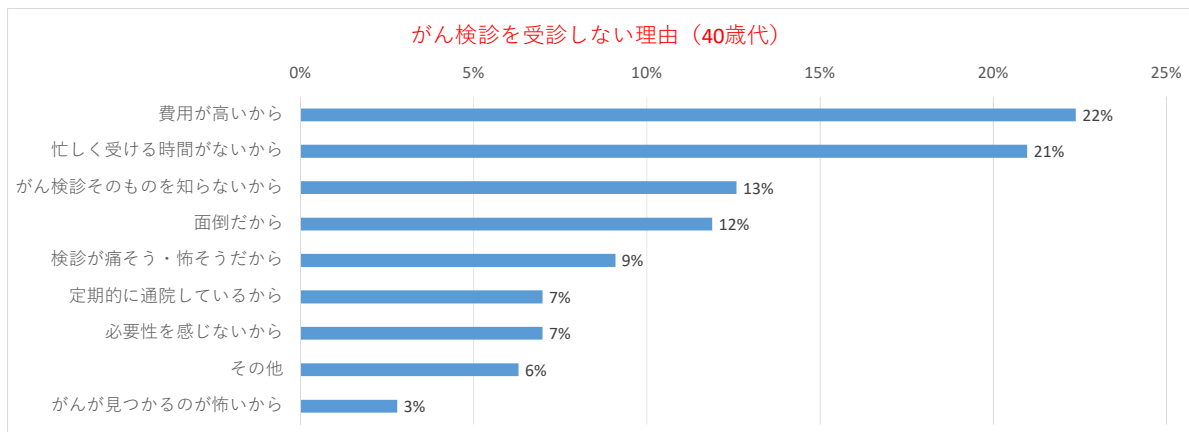
【Q4で「5年以上前に受診」と回答した人（190人）】

知っている→約5割（92人）、知らなかった→約5割（98人）

【Q4で「一度も受診したことはない」と回答した人（506人）】

知っている→約2割（112人）、知らなかった→約8割（394人）

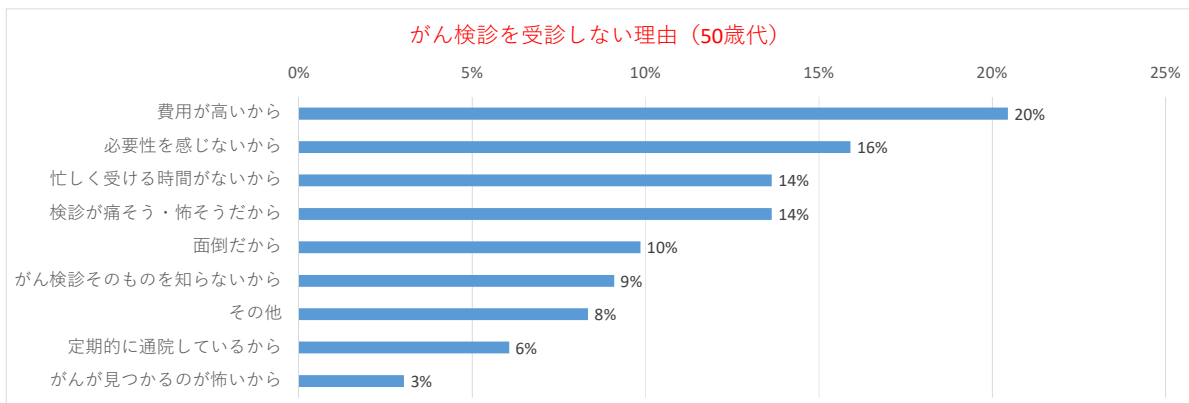
【参考】40歳代、50歳代でがん検診を一度も受けていない方の受診しない理由



【40歳代】全体数：143人

・「費用が高いから」という理由が一番多く、
次いで「忙しく受ける時間がないから」という理由が多い。

※上位2つの理由を足して、全体の約4割。



【50歳代】全体数：132人

・「費用が高いから」という理由が一番多く、
次いで「必要性を感じないから」という理由が多い。